



名古屋市議団ニュース

公明市議団が推進！特別定額給付金 10万円給付市民に届き安心広がる！

5月臨時会で可決・承認

- 特別定額給付金(国民一人あたり一律10万円)
- ナゴヤ新型コロナウイルス感染症対策事業継続応援金(10万円)

6月定例会で可決

- 家庭オンライン学習支援
- PCR検査体制強化

市民生活守る施策を提案
そして実現！



市長に新型コロナ対策の要望をする公明市議団(6月5日)

市会・5月臨時会・6月定例会を開催
新型コロナ関連補正予算が成立
名古屋市会では5月臨時会(5/15/19)と6月定例会(6/19/7/6)が開かれ、新型コロナ関連の補正予算が審議され可決成立しました。5月臨時会の議案には国民待望の「特別定額給付金」が含まれています。公明市議団は「10万円の一律給付」や「コロナ禍の中、市民の生活維持のため営業を続けていた事業者等への市独自の応援金などの補正予算が速やかに執行されるよう強く要望しました。」

市議団・議会質問で提案・要望
公明市議団は5月臨時会では事業継続応援金や子ども子育て事業応援金について代表質問を行い、あわせて介護事業者への支援の必要性を訴えました。

新型コロナに負けない！

また、6月定例会では個人質問で新型コロナ対応や市民生活向上のための提案を行いました。(質問の内容は4面・5面に掲載)



5月臨時会中継動画

市長への提案・要望が次々実現

公明市議団は市長に対し必要に応じて申入れを行い市民の声を届けました。5月8日には水道料金の減免を要望し、5月20日には新型コロナに関しての第3次要望、そして6月5日にはどこよりも早く避難所における感染防止対策の強化を求めました。これまで、公明市議団の要望で水道料金の減免、PCR検査所設置や避難所の感染症対策などが実現しています。(詳細は2面・3面・6面に掲載)

主な内容

- 2面 公明市議団が実現した新型コロナ対策
- 6月定例会で成立した注目事業
家庭オンライン学習支援が始まります
PCR検査体制を強化
- 3面 6月定例会個人質問から
啓発冊子「SDGsってなに？」公表
進め！防災・減災
避難所における感染防止対策の強化
- 4・5面
- 6面

目指せ！ゼロ「密」



予防について

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

“公明市議団が
提案し実現！”

新型コロナ対策・支援等の実績

を紹介します！

市民の声がカタチになりました！



©KOMEI NAGOYA



市長と市幹部に市民の声を届ける公明市議団
(5月・写真中央から左が市議団)

公明市議団は新型コロナウイルス感染症から市民を守るため、2月から6月の間に合計5回にわたって市長に対して提言・要望をしてきました。市民相談を通じてお聴かせ頂いた声を直接市長に届けることも実現に向けて取り組んでいます。ここでは、公明市議団の提言・要望の中で実現した主なものを紹介させていただきます。(内容は7月14日時点のものです)

医療・検査関係

- 名古屋市PCR検査所の開設
- PCR検査前処理自動化機器の導入
- 妊婦への分娩前PCR検査等の支援



©KOMEI NAGOYA

市民の暮らし・事業者支援関係

- 市独自の給付金制度
ナゴヤ新型コロナウイルス感染症対策事業継続応援金(10万円)
名古屋市理美容事業者休業協力金(20万円)
ナゴヤ新型コロナウイルス感染症対策子ども・子育て事業応援金(5万円)
- 水道基本料金の2か月間免除
- 新型コロナで収入が激減した世帯の国民健康保険料、介護保険料の減免



©KOMEI NAGOYA

障がい者福祉・介護関係

- クラスター発生により休業を要請した介護保険サービス事業所への補償
- 介護保険サービス事業所・障害福祉サービス事業所への衛生用品の供給体制確保
- 特別支援学校休校にともなう放課後等デイサービス利用者負担の軽減



©KOMEI NAGOYA

学校・大学関係

- 学校休業中の就学援助が必要な世帯への昼食費支援
- 家庭オンライン学習支援
- 市立大学における前期授業料納付期限の延長
- 市立大学学生生活支援金



©KOMEI NAGOYA

情報発信・手数料免除・還付関係

- 感染防止のための市施設使用取り止め等による使用料・貸付料・受講料の減免・還付
- 新型コロナ関係の申請手続きのための証明書交付手数料の免除
- 新型コロナに関する情報発信・詐欺被害防止



©KOMEI NAGOYA



市議団 HP

公明市議団の提言・要望活動については市議団ホームページをご覧ください。

6月定例会で成立した注目事業

家庭オンライン学習支援

3月2日より約3か月間と長期に及んだ学校の休校中、保護者の皆さまより授業の遅れなどについて多くの不安の声を頂戴しました。公明市議会としても市長要望をはじめ、その実現に向けて重ねて要望してきた家庭でのオンライン学習支援事業が動き出しました。

市はこのたび、学校の臨時休業により授業時間が減少する中で、家庭学習を支援し、生徒の学習内容の理解促進を図るため、オンライン学習支援サービスの導入をスタートさせます。

PCR検査体制を強化

PCR検査前処置自動化機器の購入

PCR検査に係る核酸抽出・分注機器1台を購入し、市衛生研究所に設置します。検査の一部を自動化することで一日の最大検査可能件数が従来の80件から180件へと大幅に拡大されることになります。

妊婦への分べん前PCR検査等の支援

希望する妊婦の分べん前の無料PCR検査、新型コロナウイルスへの感染が確認された妊産婦への訪問支援等を行います。各区保健センターが相談窓口となります。



PCR検査所について

PCR検査体制の拡充については公明市議団がごよりも早く要望し、去る5月21日に「名古屋PCR検査所」が開設されています。かかりつけ医等により軽症と判断された市民を中心にPCR検査を集中的に行います。かかりつけ医が事前予約し、患者さんはドライブスルー方式で1日最大30件の検査が可能です。まずはかかりつけ医にご相談ください。



PCR 検査所

また市立小中学校に1人1台のタブレット端末を配備するGIGAスクール構想は今年度より順次始まります。

●オンライン学習支援サービス利用IDを、市立中学校・高等学校の全ての生徒に7月下旬に配布します。

●モバイルルータの貸出しを行いオンライン学習に必要な通信環境がない家庭を支援します。(中学校5000台、高校1200台を8月下旬)

●タブレット端末の貸出しを行いオンライン学習に必要な端末を持つていない家庭を支援します。(中学校5600台、高校3600台を8月下旬)



©KOMEI NAGOYA



新型コロナ 対策 支援

教えて! コーナー



ナゴヤ新型コロナウイルス感染症対策事業継続応援金

個人消費者と対面して商品・サービスを有償で提供する事業を継続している中小企業の皆さまに応援金を交付します。

- 交付額 一事業者当たり10万円
- 申請期間 令和2年8月31日まで
- 申請方法 原則として郵送で申請(名古屋HPで申請書を作成できます)



コロナ応援金

コールセンター

052-228-7007

午前9時から午後5時まで
(土・日・祝日含む毎日)



©KOMEI NAGOYA



名古屋支援事業HP

国民健康保険料・介護保険料の減免

一定の収入減少等の要件に該当する場合に、保険料の減免を実施しています。

問い合わせ先

国民健康保険料お問い合わせセンター

電話番号 **0570-007-584**

午前8時45分から午後5時15分まで
(土・日・休日を除く)

国保・介護保険いずれも各区保険年金課・各支所区民福祉課保険係にお問い合わせください。



国保



介護保険

名古屋市ではホームページで新型コロナウイルス感染症に関連する主な支援策について国のものも含めて公表していますので参考にしてください。

市営住宅を活用した住宅困窮者への 住まいの確保について質問！

長期間応募がなく空室になっている住宅を対象に、単身者向けの住宅として活用するため、55㎡の面積要件を緩和することを提案。あわせて入居世帯の高齢化に対応するため、NPOや介護事業者などの空室提供等、福祉サービス向上の住環境を整えることを求めました。市は、課題の整理を進めるとともに、空室を活用した高齢者への支援策について、検討を進めてまいりたいと答えました。



OKOMEI NAGOYA



本会議中継動画

市立病院における オンライン面会について質問！

コロナ感染拡大により市立病院では入院患者への面会禁止が続いており、面会できないことによる不安や心配が患者とご家族を中心に広がっていることを指摘し、今後の第二波、第三波に備えるためにもオンライン面会を直ちに導入するよう提案。市からは、特に隔離が必要な新型コロナ感染症入院患者について、早期のオンライン面会の導入を検討していくとの答弁を得ました。重ねて、全入院患者に対してオンライン面会の環境整備を強く要望しました。



OKOMEI NAGOYA



本会議中継動画

生命を守る「津波フラッグ」の 周知広報について質問！

東日本大震災の教訓をもとに、気象庁が津波警報等の視覚による伝達方法として赤と白の格子模様の旗（国際信号旗であるU旗）を「津波フラッグ」として使用することを省令で定めたとを受けて、市として障がい者団体や民間事業者の協力を求めた広報や学校での丁寧な周知を求めました。市からは障害福祉のウェブサイトに「ウェルネットなごや」への掲載や団体などを通じて周知広報、学校における防災教育の一環として指導していくとの答弁がありました。



OKOMEI NAGOYA



本会議中継動画

コロナ禍における子育て家庭や 妊産婦さんへの 支援の強化について質問！

新型コロナ感染拡大により乳幼児の定期予防接種の接種時期がおくれた場合は自己負担なく公費での接種とすることになり、乳幼児健診については、保険センターでの健診が延期された場合、まずは、3ヶ月児健診について、医療機関での個別健診を受けられることとなります。そして、県外移動の制限により里帰り出産ができなかった妊産婦さんへは、家事や授乳などへの支援である「産前産後ヘルプ事業」を一定期間無料で利用できるよう検討がすすむこととなりました。



OKOMEI NAGOYA



本会議中継動画

指定管理施設における新型コロナウイルス の影響による減収状況と 市の対応について質問！

国と県の緊急事態宣言・措置が解除されるまでの間、市有施設でも利用中止が続き市民会館やスポーツセンターなどの利用料金制度を導入している指定管理施設では利用料収入が激減し管理運営が困難になってきていることへの市の認識と対応そして雇用の維持について質しました。市は、2月・3月の減収の合計は約2億円になり、その分は事業者との協議により市が負担することにした。4月・5月分については協議中であり、6月以降も厳しい状況が続くことから本市の負担を検討したい、と答弁しました。



OKOMEI NAGOYA



本会議中継動画

市民の生命を守る民間木造住宅の 耐震化について質問！

耐震化の促進に重要な役割を担う耐震診断員の総合的なスキルアップを図るため、低コスト工法・耐震シエルトや防災ベッドなどの専門的知識の習得のための関係団体による講習会・勉強会の開催を提案しました。市は耐震診断員の説明力向上や、改修につながるための手法を、新たに作成するマニュアルに積極的に取り入れ、周知を図るとともに、講習会・勉強会を開催すると答えました。



OKOMEI NAGOYA



本会議中継動画

鶴舞線へのホーム柵

設置について質問！

交通局では令和8年度に鶴舞線へのホーム柵設置を計画しており、広く市民の皆様にお知らせするためにホームページに掲載することを提案し、鶴舞線は名鉄との相互直通運転をしているためホーム柵設置が困難とされてきたが、設置に向けての課題と対応を質問しました。交通局からは令和8年9月のアジア競技大会開催までに整備することをホームページに掲載すると答弁するとともに、名鉄車両との扉の位置の違いを新型の開口幅の広いホーム柵導入を検討している等の説明がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

避難所における感染防止対策の強化について質問！

台風シーズン控え、大規模災害の発生や不測の事態に備えて、指定避難所の過密状態を防ぐために、より多くの避難スペースを確保することが必要であり、市や国、県の所有する施設の更なる指定を進めるとともに、民間の旅館・ホテル等については協定を締結するなどの取り組みを進めるよう提案をしました。市は指定避難所の更なる指定を進め、旅館・ホテル等については関係局と調整した上で、協定締結など取り組みを強化していく、と回答しました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

市立学校における感染防止と

熱中症対策の両立について質問！

市立学校における新型コロナの「新しい生活様式」の中で、教室での常時換気(密閉対策)や机と机の距離を開ける(密集対策)そしてマスク着用や飛沫防止シート設置(密接対策)などの感染防止対策と暑さ・熱中症対策について教育委員会に確認しました。市教委からは授業中はエアコン・扇風機を稼働しながら窓の開放をする、うちわや扇子の持参や授業中の水分補給を認めるほか、中学・高校では制服以外の涼しい服装での登校も認めていくよう学校に促すと答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

介護事業所のICT環境促進について質問！

コロナ禍において介護施設の多くで面会が制限されている中、市が行ったアンケート調査に対して多くの不安の声や相談が寄せられていることから、オンライン面会を促進するとともに今後の介護人材不安を見据えながらICT導入の促進を図るため、導入資金補助制度の積極的な周知啓発とキャリアアップ研修の導入を提案。市からは支援事業についてはネットへの掲載や事業者団体への紹介で周知を図るとともにICT研修プログラムの新設を検討との答弁を得ました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

実績紹介

啓発冊子「SDGsってなに？」が公表されました！

市はこのたびSDGsに対する市民の理解を高めることを目的とし、啓発冊子「SDGsってなに？」を作成・公表しました。公明市議団は平成30年6月定例会において、中小企業へのSDGsの認知度が低いことを指摘し、市民や企業への浸透や働きかけに全力で取り組むべきと市に要望してきました。名古屋市は令和元年7月、内閣府よりSDGs達成に向けた優れた取り組みを提案する自治体「SDGs未来都市」に選定されています。今回公表された冊子は、SDGs 17のゴールについての解説や本市の取り組み例などが4コマ漫画などで誰にでもわかりやすく工夫された内容となっています。区役所情報コーナーなどに配架されるほか市のウェブサイトにも掲載されています。



普及啓発冊子
「SDGsってなに？」



名古屋市HP
SDGs

「進め!」
防災・減災

避難所における感染防止対策の強化を要望
台風・ゲリラ豪雨・地震など大規模災害に備えよ

感染症対策万全に
安全な避難所を

公明市議団は去る6月5日に市長に
対して、避難所における感染防止対
策の強化について申入れを行いました。
市長は「繊細な要望、しっかり取
り組んでいく」と応じました。



市長に避難所における感染防止対策について要望する公明市議団

6月定例会で早くも実現

市・公明提案後に避難所開設
運営の実地検証訓練を実施

公明市議団の申し入れ後、市は6月
10日に新型コロナウイルスに対応した指定
避難所運営の実地検証訓練をおこ
ないました(下記写真①〜③参照)。
訓練では公明党の提案の段ボール
の間仕切りやベッドの検証なども
行われました。

避難所衛生用品等の備蓄が
6月定例会で早くも実現!

また、6月定例会では避難所ごとに
備蓄される新型コロナウイルス対応
のための非接触式検温器、マスク、
消毒液やパーテーション等を購入
し配備する予算案が追加上程され
可決されました。年末ごろには市内
の指定避難所に配備されることにな
ります。公明市議団の提案からの
スピード実現となりました。



市議団 HP 要望



名古屋市 HP



名古屋市の訓練の様子。右から ①「入り口での検温」②「距離をとった個人スペースの確保」③「段ボールベッド」

今年度の
所属委員会
特別委員会が決まりました

公明党
名古屋市議団

金庭 宜雄



団 長 守山区

総務環境委員会
防災・エネルギー特別委員会

小林 祥子



副団長 名東区

財務委員長
財政福祉委員会(副委員長)
安心安全なまちづくり対策特別委員会

さわだ 晃一



幹事長 西区

経済水道委員会
産業・歴史文化・観光戦略特別委員会

近藤 和博



政審会長 緑区

財政福祉委員会
大都市制度・広域連携促進特別委員会

長谷川 由美子



幹 事 北区

都市消防委員会
大都市制度・広域連携促進特別委員会(副委員長)

田辺 雄一



広報委員長 千種区

都市消防委員会(委員長)
都市活力向上特別委員会

吉岡 正修



副財務委員長 港区

副広報委員長
教育子ども委員会
都市活力向上特別委員会

さかい 大輔



副政審会長 南区

副広報委員長
総務環境委員会
防災・エネルギー特別委員会

木下 優



監 査 中川区

土木交通委員会(副委員長)
産業・歴史文化・観光戦略特別委員会(副委員長)

三輪 芳裕



団 員 天白区

教育子ども委員会
安心安全なまちづくり対策特別委員会(委員長)

中村 満



団 員 中川区

土木交通委員会
公社対策特別委員会